

大名美恵子街頭から政策の訴え

ご近所のみなさん、こんにちは。私、日本共産党の村議大名美恵子です。この場をお借りいたしまして、政策の訴えをさせていただきます。暫らくの間、ご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

みなさん、私、大名美恵子は来年1月に行われる政治戦で、引き続き村民の命と暮らしを守るためがんばります。皆さまのご支援をどうぞ宜しくお願い致します。

みなさん、私は今日、私たち村民が安心してくらししていくために大切な3つの点について訴えをさせていただきます。

1つは、先の国会で安倍内閣が強行採決した戦争法の問題です。戦争法は、「戦争はしない」と誓った日本国憲法9条を蹂躪し、日本を「海外で戦争する国」につくりかえるものです。戦後70年間、日本の平和を守ってきたのは、武力による抑止力ではありません。二度と戦争はしないと世界に誓った憲法9条の「戦闘地域には行かない、武力行使はしない」という歯止めがあったからです。私は、自衛隊を「殺し・殺される」戦地に送る憲法違反の法律は、絶対に認められません。

みなさん、日本共産党は、戦争法に反対する多くの皆さんの声を受けて、戦争法廃止で一致する政党・団体・個人が共同して、「戦争法廃止の新しい政府」をつくることを提案しました。今、この提案に大きな反響と共感をいただいています。先日私も日本共産党が行った前東海村長の村上達也さんとの懇談でも、村上さんは、「共産党の提案は、100%賛成。力をあわせて戦争法を廃止しましょう」と述べられました。

みなさん、今、私たち国民に問われているのは、憲法破壊の安倍・自公政権をこのまま許すのか、それとも戦争法を廃止して、平和と民主主義を国民の手に取り戻すのかどうかではないでしょうか。私、大名美恵子は、みなさんと力を合わせて、「野党共同」の流れを大きく広げ、戦争法廃止の新しい政府をつくるために全力をつくします。

2つ目は、東海第二原発の再稼働是非の問題です。

東海第二原発は、稼働以来、すでに37年が経過し老朽化が著しい上に、東日本大震災では、大きな被害を受けました。そして原発から半径30キロ圏内には97万人が暮らすという日本一、人口過密地帯に立地する原発です。

現在、原子力規制委員会が新基準にもとづく適合性について審査を行っていますが、審査がなかなか進まず、多くの村民が心配しているのは、原電が稼働40年を過ぎても運転しようとしているのかどうかです。仮に過酷事故になれば、原発からほぼ5キロ圏内に住む村民は被ばくしないで避難することはほとんど不可能です。福島原発事故で明らかのように東海村は住み続けることができなくなります。避難計画は、できたとしてもその実効性はありえません。

私、大名美恵子は、村民のいのちと暮らしを守るためには再稼働せず、廃炉にすることが最善の道と考えます。村民のいのちと暮らしを守り、続けることができる東海村のため

に、東海第二原発の再稼働許さず、廃炉をめざして引き続き力を尽くします。

みなさん、私は同時に、原発が廃炉になったら雇用がなくなる、村内の商工業への影響が大きいと心配されている方々のお気持ちも受け止めています。しかし原発の廃炉作業は数10年を要し、新たな雇用や、廃炉に向けた技術者・研究者の育成も必要となります。そうした中で村内の商工業を活用する、それでも活性化のためにはまだ足りないというときには、村も一緒になって新たな商工業の活性化の道を研究することが重要と考えます。

何より私、大名美恵子は、国の責任で新たな雇用創出と地域経済の活性化を図るよう求めます。

3つ目は、暮らしの問題です。日本共産党東海村委員会が実施したアンケート調査では、「年金が減らされて将来が不安でならない」「国保税が高くて払いきれない」など、切実な声がたくさん寄せられています。みなさん、地方自治体の仕事は、「住民の福祉の増進を図る」ことです。今、村に求められているのは、村民の不安を少しでも軽くするために、福祉の増進を図ることです。

ところが東海村は、今年度からコミセン利用の減免制度を見直し、実質有料化し、介護サービス利用料にかかる補助制度を廃止する、村立こども園の給食調理を民間に委託するなど、村民に新たな負担を求め、行政サービスを大幅に後退させました。来年度も公立幼稚園と学童クラブの保育料の値上げや、学校と保育所の給食調理の業務委託など、行政サービスを後退させる計画が目白押しです。

みなさん、今村にはお金がないのでしょうか。いいえ、とんでもありません。村の財政力は県内トップクラスで、使わずにため込んでいるお金は138億円もあります。1人あたりでは水戸市の約7倍です。このほんの一部を使うだけで、国保税の引き下げや介護保険サービス利用助成金の復活、学校給食の民間委託もしないですみます。加えて子どもの医療費無料化を高校卒業まで引き上げることや、小中学校・幼稚園の普通教室にエアコンを設置するなどの願いも実現できます。

みなさん、今、村に必要なのは、お金をたくさん貯めることではなく、村民の暮らしをしっかりと応援し寄りそう心でないでしょうか。私大名美恵子は、みなさんの暮らしを応援するあたたかい村政を求めてがんばります。

みなさん、日本共産党が選挙で伸びれば、政治は大きく変わります。私、大名美恵子は、4期16年みなさんといっしょにとりくんできた経験を生かし、これからも日本共産党の2議席が力を合わせて、平和な社会と村民のいのち・暮らしを守るため全力を尽くします。みなさまのご支援を心からお願い申し上げまして、この場からの訴えとさせていただきます。

ご協力いただきましてありがとうございました。